

ASME 2013 IMECEに参加して



目で見ると
海外論文発表

大谷 智仁*

Report of ASME 2013 IMECE

Key Words : Computational simulation, hemodynamics, cerebral aneurysm

<参加会議名> ASME 2013 International Mechanical Engineering Congress and Exposition
<開催場所> San Diego, California, U.S.A.
<渡航期間> 11月17日-23日
<発表タイトル> Development of a virtual coil model for blood flow analysis in coil-embolized aneurysms

この度、ASME 2013 IMECEに参加し、口頭発表を行いました。本学会は米国機械学会の全部門が一同に会する極めて大規模な学会であり、広範な事象を対象とする機械工学における各分野の最先端の話を一日中聞くことが出来る大変素晴らしい機会でした。ここで私は、脳血管病の一つである脳動脈瘤に対し、適切な治療を検討するための数値解析の新技术について発表させて頂きました。セッション終了後に座長から個人的に大変好意的なご質問を受け、自分の研究の独創性に対して良い評価を頂いたことは大変嬉しい出来事でした。

所属する研究室からは私一人での参加であり、当初は知人がおらず不安でしたが、日本から学会に出席している様々な先生方や学生の方に大変親切にして頂き、昼食時やレセプションなど、学会全体を大変楽しむことができたように思います。

最後に、海外論文発表奨励賞を頂き、本学会発表

に際して援助頂きましたことに、心より感謝申し上げます。



写真1 学会での発表



写真2 会場入口



写真3 昼食会場



写真4 ポスターセッション



*Tomohiro OTANI

1987年12月生
大阪大学大学院基礎工学研究科博士前期課程修了(2013年)
現在、大阪大学大学院基礎工学研究科機能創成専攻生体工学領域和田研究室博士後期課程一年 修士
バイオメカニクス
TEL : 06-6850-6173
FAX : 06-6850-6173
E-mail : t.ohtani@biomech.me.es.osaka-u.ac.jp